

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめて書くことができています。
- 語や文章の種類とその特徴について理解することができています。
- 引用した内容をもとに、自分の考えが伝わるよう書き表し方を工夫することに課題が見られる。

【算 数】

- 体積を求める公式や十進位取り記数法の仕組みなどの基礎的な内容が理解できています。
- 示された情報を基に、数量の関係に着目して条件に合う時間を求めることができています。
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 友達や周りの人の考えを大切にし、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う児童が多い。
- 授業以外の学習時間の確保に課題が見られる。
- ICT 機器を使って、情報を整理したりプレゼンテーションを作成したりすることができると考える児童が、全国や県の平均を下回っている。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・単元のゴールに至るまでの学習過程を大切に国語科の重点単元の実施
- ・算数科における練習問題終了後のタブレット活用
- ・全校での漢字と計算のまとめテストの実施及びそれに向かうまでの取組

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・「問いをつかむ」「課題に取り組む」「学びを振り返る」各段階における教師の働きかけの工夫
- ・次の学習につなげるための振り返り活動の充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・交換授業や学年の取組を通した、複数の教師から認められる機会の充実
- ・委員会活動や児童会における縦割り活動の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・児童が自ら学び方を選択する機会の充実
- ・振り返りを通した、自ら学びを調整する力の育成